



参議院議員
伊勢崎賢治



AARJapan
野際紗綾子



立教大学大学院教授
長有紀枝



シャンティ国際
ボランティア会
山本英里

緊急人道支援の危機における 研究と実践の架橋

2月28日(土) 13:00～14:30

進行 立教大学特任教授 三宅隆史

本シンポジウムでは、昨今の援助資金の削減、人道危機の増大などの深刻な状況を受け、研究者および実務者はこの状況をどのように受け止めているのか、それぞれの果たすべき役割、また研究と実践の架橋はどうあるべきかを共に考えます。

場所: 立教大学池袋キャンパス14号館D501

オンラインでの視聴も可能

シンポジウム参加費: 会員・非会員ともに 1000円、学生は無料

本シンポジウムは緊急人道支援学会第3回大会の一部として開催されます。

大会参加費: (会員)3000円 (非会員)5000円 (学生)無料

懇親会参加費: 一般5000円/学生3000円

プログラム 進行: 三宅隆史 (立教大学)

発表 人道支援の危機の背景と課題と研究者の役割 長有紀枝(立教大学)

タイ国境のミャンマー難民に対する人道支援危機の影響

山本英里 (シャンティ国際ボランティア会)

日本のNGOによる人道支援の危機への対応と今後の役割

野際紗綾子(ジャパンプラットフォームNGOユニット)

人道支援政策立案における研究者および実務者に対する期待

伊勢崎賢治(参議院議員)

質疑応答/ パネルディスカッション

お申込み:

<https://jashas-3conference.peatix.com/>

お問い合わせ: 緊急人道支援学会事務局
info@jashas.org



緊急人道支援学会

Japan Society for Humanitarian Action Studies

登壇者・モデレータープロフィール



伊勢崎 賢治(いせざき けんじ)

参議院議員/東京外国語大学名誉教授

元立教大学教授。国際連合シエラレオネ事務総長副特別代表上級顧問兼武装解除・動員解除・社会復帰(DDR)部長を務めたほか、アフガニスタンでの軍閥・武装勢力の武装解除を指揮した。プラン・インターナショナルでシエラレオネ、ケニア、エチオピアで農村総合開発に従事した経験もある。



長 有紀枝(おさ ゆきえ)

立教大学大学院社会デザイン研究科・社会学部教授/難民を助ける会(AAR Japan)会長/日本赤十字社常任理事

東京大学大学院総合文化研究科「人間の安全保障」プログラム修了(博士)。主な著書に『スレブレニツァーあるジェノサイドをめぐる考察』(東信堂2009年)、『入門 人間の安全保障—恐怖と欠乏からの自由を求めて 増補版』(中央公論新社2021年)ほか。



野際 紗綾子(のぎわ さやこ)

難民を助ける会(AAR Japan)支援事業部マネージャー兼アドボカシーマネージャー/ ジャパン・プラットフォーム常任委員

2005年にAARに入職。2008年ミャンマーサイクロン、2009年スマトラ沖地震、2010年パキスタン洪水、2011年東日本大震災、2020年九州南部豪雨等の災害支援に従事。2021年のミャンマーの政変以降は同国内の緊急人道支援に従事した。



山本 英里(やまもと えり)

シャンティ国際ボランティア会事務局長 兼 アフガニスタン事務所 所長

2001年にインターンとして、シャンティ国際ボランティア会(SVA)タイ事務所に参加。2002年、ユニセフに出向しアフガニスタンで教育復興事業に従事。2003年より、アフガニスタン、パキスタン、ミャンマー(ビルマ)難民キャンプ、カンボジア、ネパールでの教育文化支援、緊急人道支援に携わる。2019年より現職。



三宅隆史(みやけ たかふみ)

立教大学文学部特任教授/教育協力NGOネットワーク(JNNE)事務局長/シャンティ国際ボランティア会(SVA)教育アドバイザー

緊急人道支援学会監査役、開発教育協会(DEAR)理事、アジア太平洋基礎・成人教育協会(ASPBAE)理事。ミャンマー難民キャンプ、アフガニスタン、ネパールで教育開発・人道支援事業に従事した。著書に『国際協力NGOによる持続可能な開発のための教育—SDGsのための社会的実践を通じた学び』(デザインエッグ社)等がある。